

2023年3月31日

課題名：キャスルマン病および TAFRO 症候群の臨床的特徴と予後に関する調査

◆研究の目的と概要◆

当院では、キャスルマン病および TAFRO 症候群について治療経過を調べています。本研究は治療経過を詳細に調べることによって、今後のよりよい診療を行うことを目的としています。

◆対象となる患者さん◆

2000年1月から、2022年12月までの間に、キャスルマン病および TAFRO 症候群であると診断された18歳以上の成人の方。

◆研究に使用される情報◆

年齢、生年月、性別、身長、体重、合併症、既往歴、現病歴、キャスルマン病または TAFRO 症候群の診断日、診断時または治療開始直前の体温、パフォーマンスステータス(全身状態の指標)、むくみの有無、血液検査の結果(CRP、アルブミン、LD、ALP、クレアチニン、フェリチン、sIL-2R、IL-6、VEGF、ヘモグロビン濃度、白血球数、血小板数、M蛋白、IgG、HIV抗体、HHV-8ウイルスPCR)、尿検査(尿蛋白)、CT検査(リンパ節腫大の有無、肝臓の腫大の有無、脾臓の腫大の有無、胸水・腹水の貯留の有無、間質性肺病変の有無)、腹部超音波検査(肝臓の腫大の有無、脾臓の腫大の有無、胸水・腹水の貯留の有無)、心臓超音波検査の結果(左室駆出率)、リンパ節の組織検査の結果、アミロイドーシス合併の有無、キャスルマン病および TAFRO 症候群に対する治療経過、治療後の血液検査(CRP、アルブミン、クレアチニン、IL-6、ヘモグロビン濃度、血小板数)、治療後のパフォーマンスステータス、転帰

◆研究方法◆

本研究は過去の診療録(カルテ)等からの情報を利用します。

- 
- \* 研究成果は学会等で発表を予定していますが、その際も患者さんを特定できる情報は利用しません。
  - \* 本研究に関するお問い合わせや、カルテ情報の利用についてご了承いただけない場合、以下の問い合わせ先までメールでご連絡ください。
  - \* 本研究に対して申し出のあった時点で、既に学会発表または論文化されている場合は対応が困難なため、本研究の解析から除外することは不可能であることをご了承ください。

【問い合わせ先】

公益財団法人大原記念倉敷中央医療機構 倉敷中央病院  
血液内科 研究責任者 佐藤 貴之

E-mail: kenkyu★kchnet.or.jp (臨床研究センター)

(★を@に変換して使用してください)

この研究課題で利用する残余検体・診療情報等の利用については、医の倫理委員会によって「社会的に重要性が高い研究である」等の特段の理由が認められ、実施についての承認が得られています。

※【問い合わせ先】では、次の事項について受け付けています。

- 研究計画書および研究の方法に関する資料の閲覧（又は入手）ならびにその方法（他の研究対象者の個人情報および知的財産の保護等に支障がない範囲内に限られます。）
- 研究対象者の個人情報についての開示およびその手続
- 研究対象者の個人情報についての利用目的の通知
- 研究対象者の個人情報の開示、訂正等、利用停止等について、請求に応じられない場合にはその理由の説明